

令和元年度事業報告

社会福祉法人 あせんぶるおーる

平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

社会福祉法人あせんぶるおーるは、就労支援センターあっぷでーととして、就労移行支援事業および就労定着支援事業を実施しているところです。各事業の内容について、下記の通りご報告いたします。

1. 就労移行支援事業（定員 20 名）

就労移行支援事業は、就労を希望する 65 歳未満の障害のある方に対して、生産活動や職場体験などの機会の提供を通じた就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練、就労に関する相談や支援を行います。就労支援センターあっぷでーとは、「必要な訓練」として、作業訓練、施設外就労、面談、学習会、ソーシャルスキルトレーニング、認知行動療法、感情コントロールの学習、職場見学、職場実習等を行います。さらに、養護学校等二年生在籍者に対し「進路の参考としていただくための就労アセスメント」また、今後就労を希望する方に対しての「就労アセスメント」を実施しています。アセスメントはそれぞれの利用者の実態に合わせて柔軟な来所設定を行い、事前面談～今後の取り組みを提案する反省会までとなります。

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訓練開所日数	前年度	22	22	22	23	21	20	22	22	22	22	20	22	260
	今年度	22	23	22	23	23	22	23	22	23	21	21	23	268
正式訓練生数	前年度	19	18	17	15	17	18	19	19	19	19	22	21	223
	今年度	25	22	23	24	23	22	22	23	23	23	21	21	272
アセスメント利用者数	前年度	2	6	10	13	10	8	6	7	6	5	2	2	77
	今年度	0	6	9	9	3	10	4	3	1	4	4	1	54

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
正式+アセスメント延べ利用者数	前年度	379	338	376	397	395	368	429	433	401	387	395	414	4,712
	今年度	409	498	518	518	412	409	454	394	379	403	370	385	5,149
施設外（延べ人数）	前年度	48	48	48	33	39	33	51	52	48	42	42	42	526
	今年度	43	45	40	51	38	95	32	92	39	36	54	48	613
ソーシャルスキルトレーニング（延べ人数）	前年度	15	16	20	19	17	22	15	31	24	26	31	17	253
	今年度	20	36	39	38	16	35	23	13	14	8	15	18	275
面談（延べ人数）	前年度	17	17	18	15	16	16	19	18	19	18	21	25	219
	今年度	29	29	31	46	33	32	28	34	13	5	11	4	295
学習会（延べ人数）	前年度	14	15	12	14	11	13	11	17	16	18	19	21	181
	今年度	0	20	24	20	20	19	17	13	16	11	15	11	186
認知行動療法（延べ人数）	前年度	4	10	9	6	2	5	3	0	10	10	12	16	103
	今年度	20	19	21	22	14	17	12	7	7	6	8	3	156
感情コントロール（延べ人数）	前年度	25	21	23	20	17	17	25	22	20	17	16	17	187
	今年度	16	19	8	25	17	21	7	20	15	8	8	13	177

学習会の内容と、ソーシャルスキルトレーニングの内容は以下の通りです。ソーシャルスキルトレーニングは①は主に高機能の発達障害のある方、②は知的障害の方が中心です。

月	学習会	ソーシャルスキルトレーニング
平成31年4月	なし	SST②「親に怒られたとき」 SST①「人に何かお願いをするとき」
令和元年5月	消防訓練（ぐらぐら号）	SST②「誉められたときの態度」 SST①「印象良く会話を終わらせる」 SST②「隣に座る」

月	学習会	ソーシャルスキルトレーニング
〃 6月	カラオケ	SST①「友人の誘いを断りたいとき」 SST②「ほかの人が使ってるものを使う時/了解を出すとき」 SST①「作業に集中したいことをやんわりと伝えるとき」
令和元年7月	アウトレットでの買い物 「通勤にふさわしい服を購入しよう」	SST②「相手の話が面白かったとき」 SST①「相手の人に分かりやすく伝えるためには（作業編）」 SST②「誉められた時の対応」
〃 8月	プラネタリウムとテーブルマナー	SST①「適度な親切の程度（作業場面）」
〃 9月	面接練習（履歴書を渡す）	SST②「マナーについて」（どうする方法でくしゃみをしたらよいか） SST①「たくさん話をされて理解できなかったとき」 SST②「マナーについて」（鼻がむずがゆくなってほじりたくなったら）
〃 10月	バーベキュー（OBと合同）	SST①「印象の良い会社での態度」 SST②「社会人としての人との距離感」 SST①「熱心さが伝わる会社見学」 SST②「社会人としての人との距離感」－休憩編
〃 11月	会社見学（OBの就職先訪問）	SST①「実習初日に説明を受けたものの分からない時の質問」 SST②「実習初日のあいさつの仕方」 SST①「体調不良の申し出（作業中のイライラに対して）」 SST②「急な作業変更の指示があった時の適切な態度」
〃 12月	調理実習	SST①「うっかりミスをした時の適切な態度」 SST②「実習で分からない時に質問をする」
令和2年1月	詐欺商法（米原署）	SST①「相手の話を否定せずに意見を伝える」
〃 2月	吉本新喜劇鑑賞	SST②「相手に『ごめん』と謝るとき」 SST①「傾聴のスキル・感情に同調して返答する」

〃 3月	座禅体験（青岸寺）	SST①「体調が悪い時の相談」 SST②「傾聴のスキル・要約して返答する」 SST①「適切な相手との距離感」
------	-----------	--

利用率は以下の通りです。正式訓練生は施設外利用者を含んでいます。

正式のみ	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	前年度	84.0%	66.0%	73.0%	71.5%	80.0%	82.5%	90%	87.5%	85%	82.5%	96.5%	91%	82.4%
今年度	90.5%	99.5%	109%	100%	85.5%	87.5%	90.5%	85.5%	81.0%	96.0%	88.5%	84.0%	91.5%	
アセスメント含む	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	前年度	86.5%	77.0%	85.5%	86.5%	94.5%	92.0%	95.5%	98.5%	91.5%	88.0%	99.0%	94.5%	90.8%
今年度	93%	108.5%	118%	113%	90%	93%	99%	90%	82.5%	96%	88.5%	84%	96.3%	

アセスメント実施時に成育歴から現在までの状況を家族から聞き取ることで、障害特性をおおよそ把握し、効果的な訓練を目指します。またどのような個別支援計画を策定し、どの程度変化があるか家族や関係機関、本人に知っていただくことで家庭での視点や声掛け等が変わります。入所時に関わってくださった機関の皆様にもできるだけ状況を知っていただけるように随時ケース会議等を実施しています。

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アセスメント事前面談（件数）	前年度	2	5	6	6	3	5	8	4	1	3	2	1	46
	今年度	1	6	6	6	1	8	2	1	2	5	1	1	40
アセスメント反省会（件数）	前年度	0	2	4	5	6	3	3	1	4	4	2	2	36
	今年度	3	1	9	10	6	3	5	3	1	3	3	2	49
ケース会議開催（件数）	前年度	3	3	5	4	2	2	7	5	3	4	6	5	19
	今年度	2	7	6	12	7	7	8	3	10	7	4	7	80

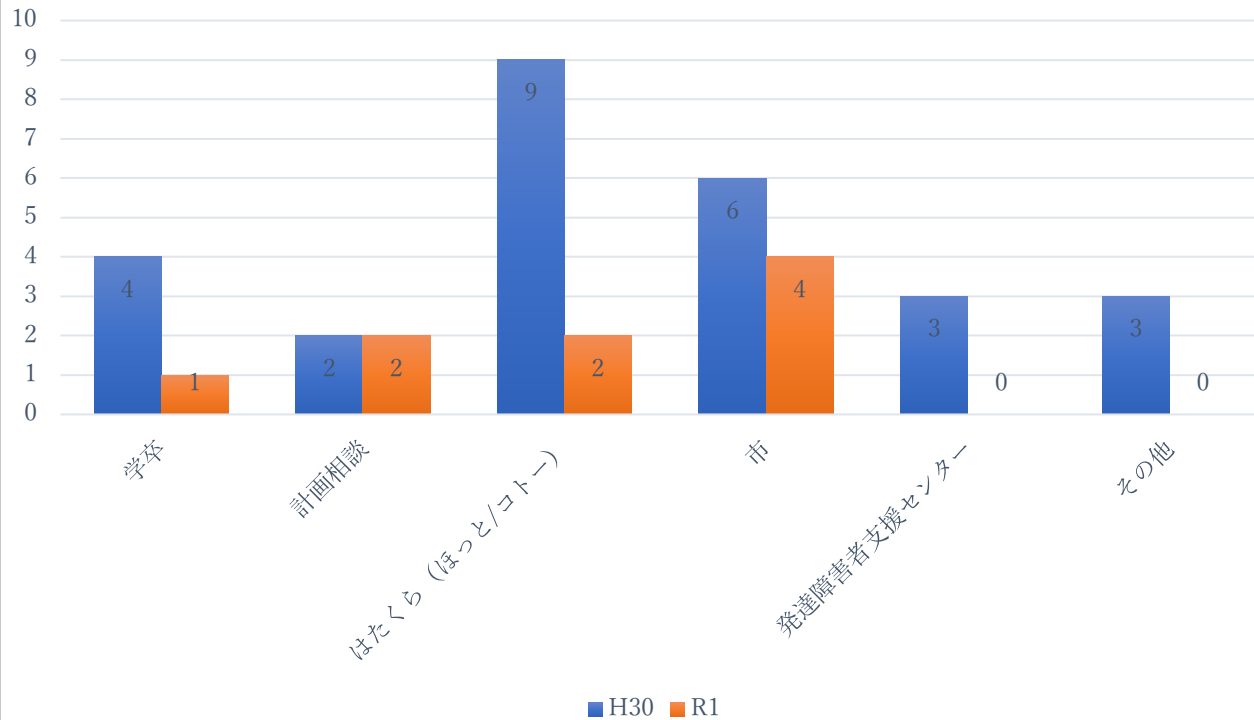
尚、平成31年4月～令和2年3月までの就職者は 9名でした。（トライアル雇用開始時にカウント）

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ハローワーク訪問	前年度			3		2	1	2		1	3	3	1	16
	今年度		2		1	3	1	2		3	1	3		16
事業所見学	前年度	1		1	1		1			1	2	5	3	15
	今年度			1		1		5		1				8
実習（人数）	前年度		2	1	2	1	1	2					2	11
	今年度	1		1				1	4	2	4	1		14
実習支援（延べ日数）	前年度	2	14	4	11	7	7	6					12	63
	今年度	10		12				6	19	20	33	4		104
就職者	前年度	2		1	1	1			1					6
	今年度	2	1	1							1	3	1	9

就職先の仕事内容は以下の通りです。

Yさん	部品の袋詰め、検査等の軽作業
Kさん	野菜のカットや袋詰めなどの加工
Tさん	糸繰り、総切りなどの加工
Mさん	老人ホーム清掃（掃除機掛け、モップ掛け、トイレ掃除、外周の清掃）
Sさん	工場内の清掃、シュレッダー等の周辺業務
Kさん	野菜のカットや袋詰めなどの加工
Sさん	自動車部品の組立
Kさん	社内便の配送等総務に関わる作業
Nさん	研究所内の清掃

利用者の新規相談経路



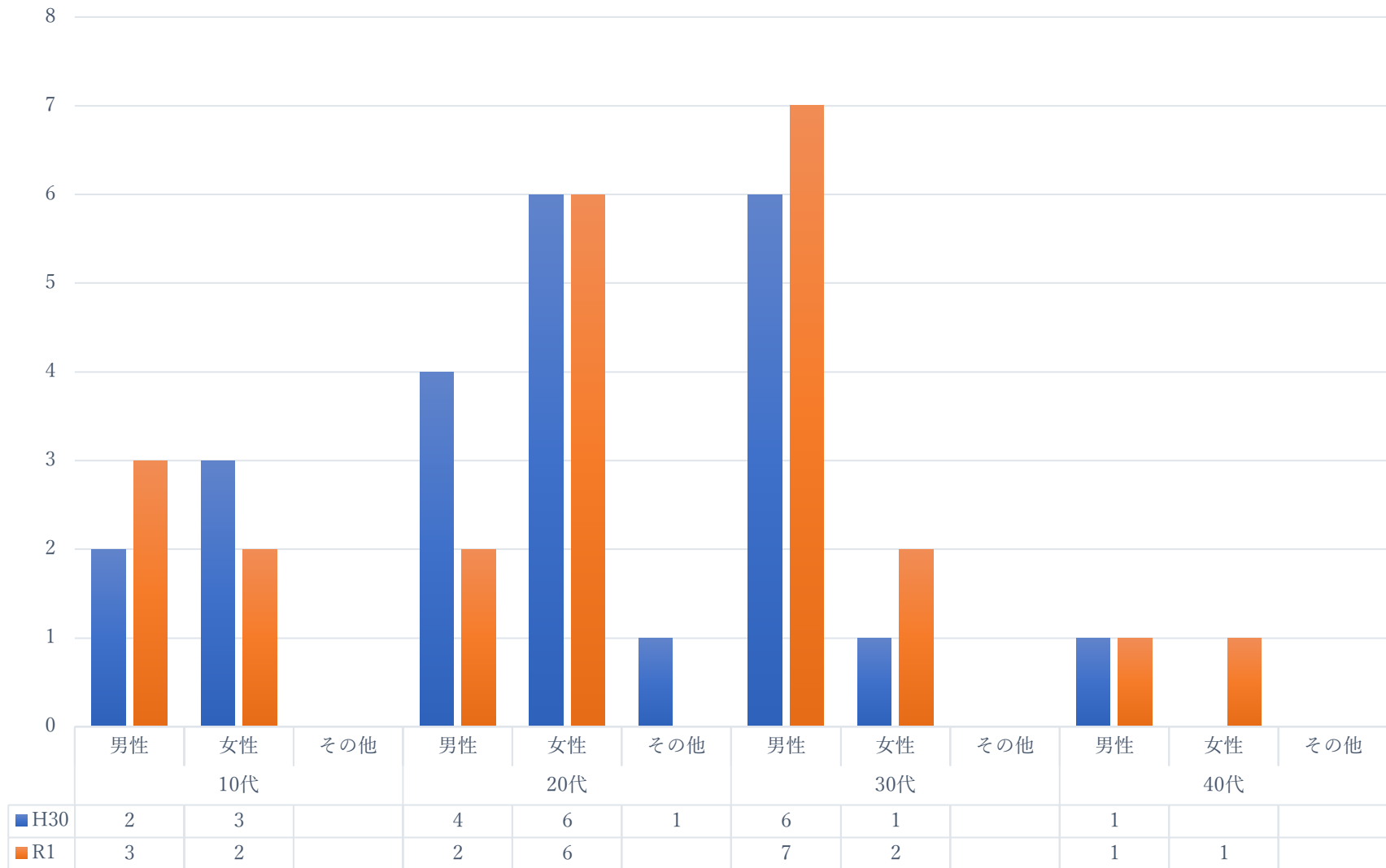
新規正式訓練生の相談経路、および年齢や性別などの傾向は以下の通りです。

【相談経路について】

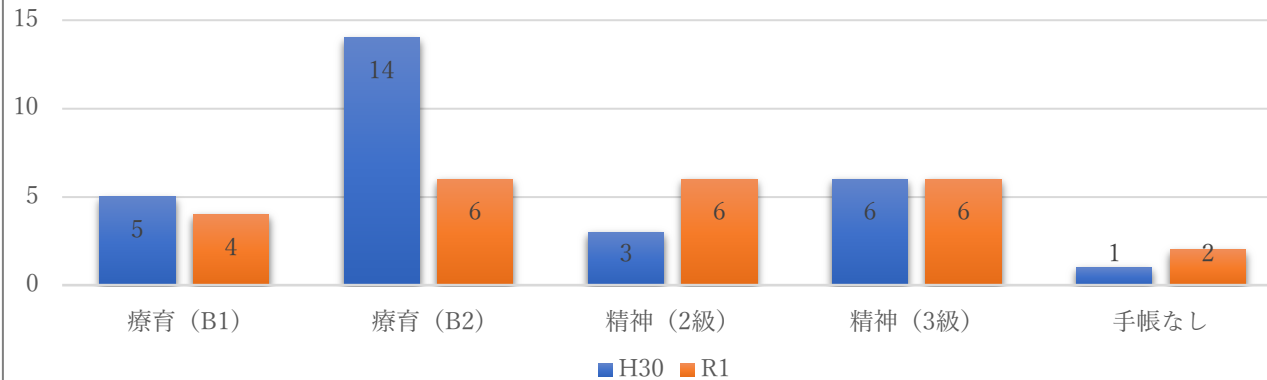
昨年は在籍者のデータをすべて出したが、今年度分は令和元年のみの新規利用者をカウントしている。

令和2年度はハローワーク等を通じて直接本人（家族）から利用申し込みの連絡をいただくケースがあった。その場合は受給者証の関係で一旦市につなぐため、市のケースが増えている。またあっぷでーとの利用直前に発達障害者支援センターに相談されたケースは市としてカウントをしている。

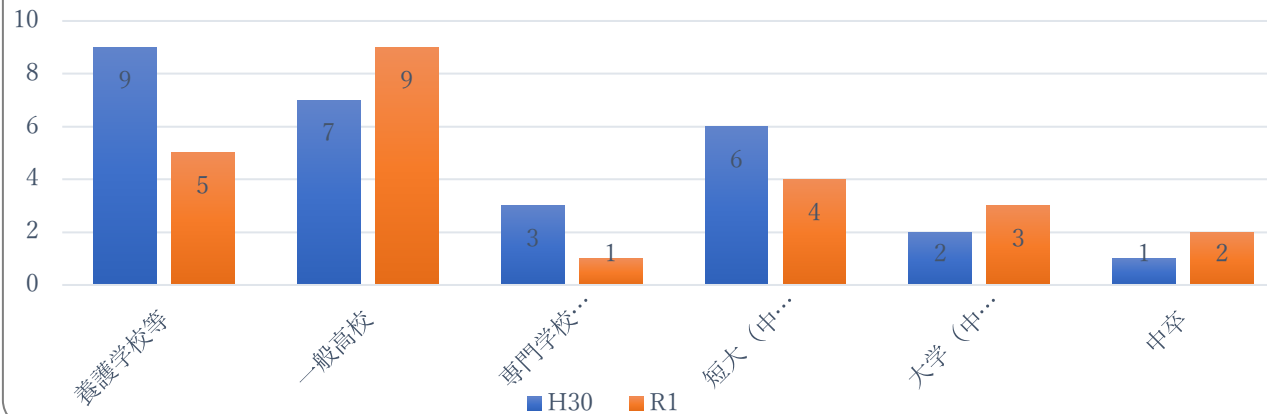
在籍訓練生の年齢と性別(入所時)



利用者の障害状況



利用者の最終学歴



【年齢と性別、障害状況】

平成31年4月1日~令和2年3月31日に在籍している方の状況。昨年度に比べると精神保健福祉手帳を所持されている方が微増している。これは自閉症スペクトラムの方が一般の高校、大学を経て就労しうつ病や適応障害、物質使用障害などの二次障害が起こした時点で手帳を取得するケースが増えていることに起因する。病院では二次障害に対する対応となるが、成育歴を聞くと自閉症スペクトラムが疑われ、発達障害者支援センター等につながることもある。また、一般高校の卒業者が多いが、IQ的に60~80のボーダーラインの方でも養護学校や高等養護学校を選択せず、受け入れ可能な一般高校に入学するケースが増えていることからと思われる。また引きこもり経験者が通信制などを選択されていることもある。

2. 就労定着支援事業

就労定着支援事業は、平成 30 年 4 月から新たに国が定めた制度です。これまで就労移行支援事業所の定着支援の義務は 6 か月と定まっていたましたがあっぷでーとでは、6 か月以降も適宜、職場訪問や面談等を行っており、以前と変わらぬ定着支援を行うために就労定着支援事業を実施してきました。これまでは就労移行支援事業所が就職させた人数に対して、1 年目、2 年目、3 年目とそれぞれ定着した人数に対して基本単価に加算が上乘せされていましたが、個別契約の事業として新たに事業所を認可し、契約した方毎の個別給付となりました。

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数	前年度	8	8	10	12	12	13	14	16	16	17	17	18	161
	今年度	17	17	17	17	18	17	17	18	18	18	20	20	232
職場訪問 (無料期間含む)	前年度	8	8	12	13	14	14	15	16	16	17	17	18	168
	今年度	18	24	29	26	28	29	21	15	16	16	22	26	270
面談実施 (回数)	前年度	4	6	6	7	7	6	7	7	4	7	5	7	73
	今年度	5	7	6	8	11	7	10	3	3	3	3	3	69
OB会延べ参加者 (デフラグ)	前年度		17			16		19			12		17	66
	今年度		22			19		22			14		中止	77

職場訪問は基本的に月に1度行います。これまでから訓練を行っているため、職場でも概ね問題ありませんが、突発的なトラブルがあった際には集中的に支援を行うこともあります。また、LINE 公式アカウントを利用し、訓練生からいつでも SOS が出せるように工夫を行っています。しかし兼ねてから重点的な支援を行っていた方を含め、今年度は2名の退職者がありました。(職場在籍それぞれ 21 か月、38 か月) 離職後の進路については本人、家族、定着に関わって下さっていた支援機関と相談の上、1 名は一度あっぷでーとで生活リズムを整え、年金取得の段取りを行った上で A 型へつなぎ、もう 1 名はあっぷでーとで再訓練を行っています。職場訪問以外では OB 会 (デフラグ) 開催を含め、本人の希望があれば通院の同行、また仕事が終わってからの面談等を実施しています。感情コントロールの学習については就職後も来所してもらい実施するケースもあります。更に就労後、家族との関係についての面談や、おこづかい帳を付け、適切なお金の使い方を学ぶことなども行っています。

3. 職員配置

それぞれの事業に関する職員配置は以下の通りになります。就労定着支援事業に関しては定員という考え方はなく、契約者数に対して人員の配置基準を満たす必要があります。

就労移行支援事業 (定員20名)	管理者	サービス管理 責任者	生活支援員	職業指導員	就労支援員	就労定着支援事業	管理者	サービス管理 責任者	就労定着 支援員
常勤(常勤換算)	1	1		3(1.95)	3(1.4)	常勤(常勤換算)	1	1	2(0.30)
非常勤(常勤換算)			2(1.22)			非常勤(常勤換算)			

4. 研修や会議の参加

2年という限られた期間の訓練で効果的に職業準備訓練が実践できるように、職員の資質向上に努めています。より深く障害特性を知る研修や技術習得のための研修、一般的な就労支援の知識を得る研修等に参加致しました。また、自立支援協議会が開催する会議等に参加しています。

1. 研修

月	研修名	参加人数
平成31年4月	SST(社会生活技能訓練療法)ファーストレベル講習会	3
〃 6月	社会福祉法人会計セミナー「初級編」	1
	2019年度 接遇・日常マナーリーダー養成研修	2
	ASDの特性を正しく理解する(支援者養成クラスルーム2019)	2
	カウンセリングにおけるマインドフルネス	4
	ソーシャルストーリーズ入門ワークショップ	4

〃	7月	アセスメントに基づく個別化された支援の展開（支援者養成クラスルーム 2019）	2
		福祉サービス制度概要 I 障害福祉サービスについて（湖北圏域しょうがい福祉事業所若手職員向け 21 連続講座）	1
		2019 年滋賀県相談支援従事者初任者研修	1
〃	8月	2019 年 TEACCH®FiveDay トレーニング	1
		精神科で出される薬の話	1
		しょうがい基礎研修 I 発達しょうがいの理解、支援の実際（湖北圏域しょうがい福祉事業所若手職員向け 21 連続講座）	1
〃	9月	社会福祉法人会計セミナー「基本編」	1
		しょうがい基礎研修 II 知的障害の特性と支援の在り方について（湖北圏域しょうがい福祉事業所若手職員向け 21 連続講座）	1
〃	10月	Structure TEACCHing（支援者養成クラスルーム 2019）	2
〃	11月	令和元年度 就業支援実践研修	1
		2019 滋賀県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	1
		本人中心の個別支援計画によるソーシャルワーク実践（基幹相談センター）	1
		精神保健福祉領域における同行と今後の課題・知的障害がある人への理解を深める	3
		滋賀県高次脳機能障害専門研修	1
〃	12月	福祉施設に望まれるハラスメント防止セミナー	1
		『多様な性を考える』～共に働く仲間として～（社会福祉法人湖北会人権研修）	4
		ストレスマネジメントについて（湖北圏域しょうがい福祉事業所若手職員向け 21 連続講座）	1
令和 2 年 1 月		認知行動療法の基礎知識と導入・実践 研修会（2 days）	7
		就労継続 B 型事業所の就労支援（ジョブスタ-研修）	3
〃	2月	事例から学ぶ精神医学【不安障害】	3
		SST ファーストレベル研修会（2 days）	2
		事例から学ぶ精神医学【依存症】	2
		人事労務管理セミナー～パワハラ対策・入退職管理編～	1
		行動マネジメント（支援者養成クラスルーム 2019）	1

〃 3月	会計セミナー予算・決算編	1
	管理者向けセミナー～目からウロコの会計と決算書の見方～	1

* 3月に予定していた研修は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となったものもあります。

2. 会議等の参加

月	会議名
令和元年5月	長浜養護学校就労アセスメント説明会 長浜北星高等養護学校 企業・事業所等学校見学会
〃 8月	湖北圏域特別支援学級進路説明会 長浜米原しょうがい者自立支援協議会第1回全体会議
〃 9月	自立支援協議会 ジョブスター会議 湖北地域しょうがい者支援事業所協議会
〃 11月	就労定着支援プロジェクト会議
〃 12月	自立支援協議会 ジョブスター会議 就労定着支援プロジェクト会議
令和2年1月	就労定着支援プロジェクト会議
〃 2月	自立支援協議会 ジョブスター会議 就労定着支援プロジェクト会議

* 3月に予定していた会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。